

第7号様式 技術提案書評価表

タブレットを利用したきずな再生・強化事業（開発・情報発信系）

提案書の目次														
項番	大項目	項番	中項目	項番	小項目	評価区分	小計	基礎点	加点	評価基準	提案書頁			
1	仕様書に基づいた提案					必須	5	5	-	仕様書記載のシステム設計・構築内容について全て提案されていること。	仕様書記載のシステム設計・構築内容について全て記載があること・・・5点			
			小計				5	5	0					
2	事業実施体制													
	2.1	2.1.1	体制・役割分担	2.1.1	体制	必須	5	5	-	本事業内容を実施するのに必要な人員（PM、エンジニア、デザイナー）が体制図に明記されていること。	PM、エンジニア、デザイナーの役割を持つ人がそれぞれ一人以上いる・・・5点 PM、エンジニア、デザイナーの役割を持つ人が一人確保されていない（兼務不可）・・・0点			
	2.2	2.2.1	会社としての専門性、類似開発実績	2.2.1	ネイティブアプリの開発実績	必須	5	5	-	会社としての消費者向けネイティブアプリ開発の実績の有無（Androidの実績があること）	実績が一件以上ある・・・5点 実績なし・・・0点			
		2.2.2		類似アプリの開発実績	任意	任意	5	-	5	なみえ新聞のようなニュースや新聞など情報伝達系のアプリ開発の実績がある。	類似機能をもつアプリの開発実績がある・・・5点 機能の一部が類似しているアプリ開発実績がある・・・3点 実績が認められない・・・0点			
									5	-	5	なみえ写真投稿のような写真の編集、投稿、共有を行うアプリ開発の実績がある。	類似機能をもつアプリの開発実績がある・・・5点 機能の一部が類似しているアプリ開発実績がある・・・3点 実績が認められない・・・0点	
									5	-	5	うけどんウィジェットの類似する機能の開発実績がある。	類似機能をもつアプリの開発実績がある・・・5点 機能の一部が類似しているアプリ開発実績がある・・・3点 実績が認められない・・・0点	
		2.2.3	県内事業者の活用	任意	任意	任意	5	-	5	・福島県内の事業者が開発体制に入っているか	全て県内事業者で構成されている・・・5点 一部県内事業者で構成されている・・・3点 県内事業者は含まれていない・・・0点			
	2.3	2.3.1	チームとしての専門性、類似開発実績	2.3.1	開発チームの開発実績	任意	15	-	15	・本事業企画予定のチームでの開発実績があるか	実績あり・・・15点 実績なし・・・0点			
	2.4	2.3.1	事業従事予定者の専門性、類似開発実績	2.3.1	プロジェクトマネージャ	任意	35	-	10	・事業従事予定者に、PMとして消費者向けタブレットまたはスマートフォンアプリ開発の経験があるか。（Android両方の経験が望ましい）	実際にユーザが使ったアプリが2個ある・・・10点 実際にユーザが使ったアプリが1個ある・・・5点 経験がない・・・0点			
											-	5	・アジャイル開発のプロジェクトで要件定義からリリースまで通じたPMの経験があるか。	2回以上ある・・・5点 1回ある・・・3点 経験がない・・・0点
											-	10	・開発上の進行管理、リスク管理、課題管理を適切に実行できる専門性と経験を有しているか。	ヒアリングにおいてその専門性と経験が特に優れていると確認されたとき・・・10点 ヒアリングにおいてその専門性と経験が優れていると確認されたとき・・・5点 ヒアリングにおいてその専門性と経験がやや優れていると確認されたとき・・・3点 ヒアリングにおいてその専門性と経験が不足すると認められる場合・・・0点
											-	10	・プロジェクトの目的を理解し、計画や体制を常に見直し、柔軟に対応することができるか。	ヒアリングにおいてその資質が特に優れていると確認されたとき・・・10点 ヒアリングにおいてその資質が優れていると確認されたとき・・・5点 ヒアリングにおいてその資質がやや優れていると確認されたとき・・・3点 ヒアリングにおいてその資質がプロジェクトの特性に合致しないと認められる場合・・・0点
		2.3.2	エンジニア（リーダー）	任意	任意	任意	25	-	10	・事業従事予定者に、エンジニアとして消費者向けAndroidアプリ開発の経験があるか。	実際にユーザが使ったアプリが2個以上あり、タブレット向けアプリが含まれる・・・10点 実際にユーザが使ったアプリが2個以上ある・・・5点 実際にユーザが使ったアプリが1個ある・・・3点 経験がない・・・0点			
								-	15	・提案されている技術への知識、経験を有しており、発生した課題に対して、目的にあった解決策を提案する姿勢があるか。	ヒアリングにおいてその資質が特に優れていると確認されたとき・・・15点 ヒアリングにおいてその資質が優れていると確認されたとき・・・7点 ヒアリングにおいてその資質がやや優れていると確認されたとき・・・4点 ヒアリングにおいてその資質がプロジェクトの特性に合致しないと認められる場合・・・0点			
		2.3.3	デザイナー	任意	任意	任意	25	-	10	・事業従事予定者に、デザイナーとして消費者向けアプリ開発の経験があるか。	ポートフォリオが3個以上ある・・・10点 ポートフォリオが2個ある・・・7点 ポートフォリオが1個ある・・・3点 ポートフォリオの提示がない・・・0点			

第7号様式 技術提案書評価表

タブレットを利用したきずな再生・強化事業（開発・情報発信系）

提案書の目次						評価区分	小計	基礎点	加点	評価基準	提案書目録
項番	大項目	項番	中項目	項番	小項目						
								-	5	・役場側のプロジェクトマネージャーやディレクターと適宜コミュニケーションを取ってデザインを進めていく姿勢があるか。	ヒアリングにおいてその資質が特に優れていると確認されたとき・・・5点 ヒアリングにおいてその資質が優れていると確認されたとき・・・3点 ヒアリングにおいてその資質がやや優れている、または、プロジェクトの特性に合致しないと認められる場合・・・0点
								-	10	・UIデザインについての知識、経験を有し、発生する課題にたいして、単一の解決策にとらわれず、柔軟にデザイン的な解決策を提案する姿勢があるか。	ヒアリングにおいてその資質が特に優れていると確認されたとき・・・10点 ヒアリングにおいてその資質が優れていると確認されたとき・・・5点 ヒアリングにおいてその資質がやや優れていると確認されたとき・・・3点 ヒアリングにおいてその資質がプロジェクトの特性に合致しないと認められる場合・・・0点
			小計				130	10	120		
3	開発計画										
		3.1	開発計画全般			必須	5	5		・開発の全体計画について具体的な手法、プロセスが明確に記載されていること。	明確に記載されている・・・5点 記載がない・・・0点
		3.2	プロジェクト管理			任意	40	-	20	・プロジェクト管理のための手法が妥当か。	進捗管理、課題管理、リスク管理、バグ管理の方法や使用するツールが明記されており、かつ運用方法が示されている・・・20点 進捗管理、課題管理、リスク管理、バグ管理の方法や使用するツールが明記されているが、運用方法が示されていない・・・10点 進捗管理、課題管理、リスク管理、バグ管理の方法や使用するツールの一部が明記されていない・・・5点 進捗管理、課題管理、リスク管理、バグ管理の方法や使用するツールについて記載がない・・・0点
								-	10	・役場側とのコミュニケーションの計画が盛り込まれているか。	町との会議体の開催頻度、目的が明確に定義されており、役場が提示すべき文書、作業内容が具体的に示されている・・・10点 町との会議体の開催頻度、目的が明確に定義されている・・・5点 町側との会議体が定義されていない・・・0点
								-	10	・開発場所は集約されているか。	1箇所に集約されている・・・10点 2箇所以上に分かれている・・・5点 開発場所が明記されていない・・・0点
		3.3	設計・開発計画			任意	40	-	20	・設計、開発のための開発手法、開発プロセスが妥当か。	設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義される、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上の策があり実効性も十分にみとめられる・・・20点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義される、かつ、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策があるが、実効性が認められない・・・10点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されるが、品質低下、進捗遅延リスク回避やユーザビリティ向上のための策がない・・・5点 設計や開発の方法や期間中の作業プロセスが明確に定義されない・・・0点
									10	・設計、開発に充てられている工数が比較的多いか。	他社提案と比較し、最も工数が多い・・・10点 他社提案より比較的多い・・・5点 他社提案より比較的多い・・・3点 他社と比較して最も工数が少ない・・・0点
									10	・アーキテクチャ（パッケージ、フレームワーク）が適切に提案されているか。	利用するアーキテクチャの選定の客観的根拠が明示されている、かつ、そのアーキテクチャでの開発実績がある・・・10点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確であるが、そのアーキテクチャを利用した開発実績がない・・・3点 利用するアーキテクチャの選定理由が明確でない・・・0点
		3.4	テスト計画			任意	30	-	15	・テスト実施のための計画（テスト実施スケジュール、テスト方法、テスト観点、各テストで実施する範囲）が明確に記載されており、内容が妥当か。	テスト種類やテスト範囲や工数、具体的なテスト方法が明確に定義されており、品質担保のために必要な観点が網羅されている、かつ、効率化するための検討されている・・・15点 テスト種類やテスト範囲が明確に定義されており、品質担保のために必要な観点が網羅されているが、テスト実施方法や効率化の工夫が十分に検討されていない・・・7点 テスト種類やテスト範囲が明確に定義されているが、テスト観点到に漏れがある・・・3点 テスト種類の定義、テスト範囲があいまい、または定義がない・・・0点
								-	5	・テスト実施に充てられている工数が妥当か	他社提案と比較し、最もテスト工数が多い・・・5点 他社提案より比較的多いテスト工数が多い・・・3点 他社提案より比較的多いテスト工数が少ない・・・1点

第7号様式 技術提案書評価表

タブレットを利用したきずな再生・強化事業（開発・情報発信系）

提案書の目次										提案書目録		
項番	大項目	項番	中項目	項番	小項目	評価区分	小計	基礎点	加点	評価基準		
								-	10	・テスト効率化のためのツールなどが適切に提案されているか。 テストの自動化の提案やテスト仕様書様式の提案があり、実効性が認められる・・・10点 テストの自動化の提案やテスト仕様書様式の提案があるが、運用実績がないなど実効性が確認できない・・・5点 テストの自動化やテスト仕様書様式のいずれかの提案がない・・・3点 テストの自動化やテスト仕様書様式のいずれも提案がない・・・0点		
		3.5	文書作成計画			必須	5	5	-	・ドキュメント作成の計画が明確に記載されていること。 ・作成するドキュメントが明確に記載されていること。 規定工数内でのドキュメント作成の提案がある・・・5点 提案がない、または規定以上の工数を割いている・・・0点		
		小計						120	10	110		
4	改善提案の評価											
		4.1	なみえ新聞			任意	15	-	15	・事業目的・KPI達成のための追加的な提案があるか。 ・町が見落としている、あるいは、実現性の低い仕様について、追加、改善提案はあるか。 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性、効果も高いと判断される・・・15点 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性や効果は比較的低いと判断される・・・7点 左記いずれかに合致する提案があるが、提案された工数内で実現できない・・・4点 提案がない・・・0点		
		4.2	ウィジェット			任意	15	-	15	・追加的な提案が事業目的・KPI達成のための提案になっているか。 ・町が見落としている、あるいは、実現性の低い仕様について、追加、改善提案はあるか。 ・追加、改善提案の工数が、提案された工数に含まれていること。 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性、効果も高いと判断される・・・15点 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性や効果は比較的低いと判断される・・・7点 左記いずれかに合致する提案があるが、提案された工数内で実現できない・・・4点 提案がない・・・0点		
		4.3	管理ツール・記事投稿（なみえ新聞ライター）			任意	15	-	15	・追加的な提案が事業目的・KPI達成のための提案になっているか。 ・町が見落としている、あるいは、実現性の低い仕様について、追加、改善提案はあるか。 ・追加、改善提案の工数が、提案された工数に含まれていること。 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性、効果も高いと判断される・・・15点 左記いずれかに合致する提案があり、かつ、追加・改善提案の工数が、提案された工数に含まれており、実現性や効果は比較的低いと判断される・・・7点 左記いずれかに合致する提案があるが、提案された工数内で実現できない・・・4点 提案がない・・・0点		
		小計						45	0	45		
								300	25	275		